■発表のポイント

発表内容は、研究テーマやリサーチクエスチョン、仮説に基づいた**実験・調査の途中報告を中心**としたものとする。必要に応じてこれまでの実験・調査で用いた道具などを見せて、内容やわかったこと、今後の動向を発表する。重要なのは、自分たちが研究したいと思っていることを、他の人たちにわかりやすく、根拠をもって伝えることである。

**発表に必須な資料は「第一回中間発表資料」のみ**であるが、その他工夫として「Google　スライド　　（パワーポイントは不可）」や「ポスター」などを作成したり、「実験での作成物」も発表で使用しても良い。ただし、「薬品」など危険性があり発表に適さないものは写真などで紹介のみとする。

追加の資料などがある場合は事前に担当教員へ相談すること。

|  |
| --- |
| ▶リサーチクエスチョン  ▶今回の研究目的⇒・何をすることで何を明らかにするのか  ▶仮説⇒・仮説（今回の研究目的に対する答えの見通し）　・その根拠  ▶実験・調査結果⇒  　　・どのような研究目的でおこなったか　・どのように実験・調査をおこなったか  ・仮説と結果の考察　・次の研究、今後の動向 |

■意見（ツッコミ）のポイント

発表の聞き手は、その発表に対して意見（ツッコミ）をする。ツッコミは、①研究をしていくうえで不足していると思う点、説明を聞いてよくわからない点、根拠として不十分な点など、発表者の研究に対して「こうするともっとよくなるよ」という視点や、②優れた発想や着眼点、社会での有益性、将来の有望性など「この点がすばらしい」という視点を持って行うことが望ましい。つまりツッコミとは、発表者の研究に役立つ意見を伝えるために、あえて批判的に物事をとらえることが重要となる。

|  |
| --- |
| ※５Ｗ１Ｈ「いつ（When）、どこで（Where）、だれが（Who）、なにを（What）、なぜ（Why）、どのように（How）」を意識する。  ※リサーチクエスチョンを設定するうえでの注意事項を意識する。  ①すぐに答えが出てしまわないか？  →考えてすぐわかることは研究の必要がない  ②現状を調べるだけで終わらないか？  →資料や先行研究でわかることは研究の必要がない  ③用いる理論を理解しているか？  →高度で専門的な知識が必要であり高校生では解決できない  ④見通しが立ち，実行可能か？  →規模が大きすぎて１年間では解決できない  ⑤研究をするうえで必要なものは準備可能か？  →機材や免許が確保できない場合は研究できない  ※言葉の定義や理論の根拠があいまいでないかチェックする。 |